



測定所に掲げる看板を持つ松岡尚孝さん（中央）と藤田康元さん
らのメンバー=つくば市内

つくばに放射能測定所

市民らが自主的に開設

市民らが中心になり、自主的に食品や土壌に含まれる放射性物質の濃度を測定する「つくば市民放射能測定所」が8日、つくば市妻木にオープンする。

放射性物質の測定は、自治体や民間検査機関が実施しているが、市民による測定所の開設は、県内ではあまり例がないという。

測定所を開設するのは、有機農業者の松岡尚孝さん（56）と大学講師の藤田康元さん（45）の2人が共同代表となる「茨城市民放射能測定プロジェクト」。2人は昨年6月、市内で開かれた脱原発集会に参加したのが

きっかけで、農業者や主婦など計6人で立ち上げた。

放射性セシウムが測定できるベラルーシ製の測定器を約160万円で購入。購入費の一部は市民からのカンパなどで充てた。週に月、金、日曜日の3回、事前予約制で午後1時～5時までの間、測定を受け付ける。測定料金は測定時間30分が500円、1時間が1000円、3時間が2000円になる。

藤田さんは「自治体の測定は無料だが、市販の加工食品の測定は受け付けていない。加工食品の放射性物質濃度に不安を持つ消費者もおり、こちらでは測定できる」としている。

メンバーは今後、放射性物質に関する知識を深めるとともに、市民から測定依頼があった食品や土壌の測定結果を踏まえてイベントなどを開く予定だ。

問い合わせは同測定所
（電話029・859・3337）まで。
（齊藤聡）